

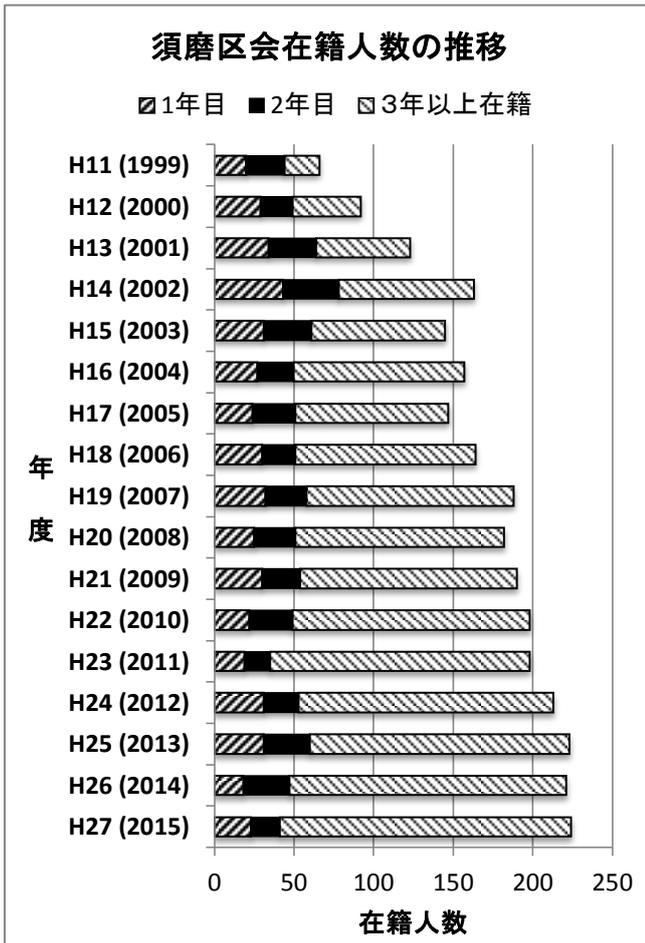
224人に8万9600円、活動助成金

◆在籍人数に応じて本部から区会に交付される活動助成金が今期は224人分の¥89,600に決まりました。前期に比べ3人分¥1200の増額で、過去最高です。

◆これにより手持活動資金は前期の繰越しと合わせて28万2994円となりますが、支出は前期と同様、経常的な4万円と、第3回ウォークラリー大会費5万円の、合計9万円にとどめておく考えです。

在籍人数は増えています

◆上記でお判りのとおり、区会にとって在籍人数は活動資金に直結する問題です。今期の会員はこれまでで最多の224人となりましたが、このまま増え続けるかどうかはわかりません。経過を見てみましょう。



◆ここ3年間は横ばいです。横ばいとは、入会者と同じだけの退会者があることを意味しますが、実はそう簡単なことでもないのです。

◆図をよく見ると、3年以上継続している会員は着実に増えています。それに比べて1年目、2年目の会員数は変動が大きく、新入会者の数が全体の人数に直接影響を与えていることがわかります。

◆つまり区会の成長は新しい会員に依存する面が大きいのです。新会員の獲得は、むしろ〈わ〉本部の専権事項かもしれません。しかし、区会にできることがあるとすれば、在校生の地域交流活動やイベントへの協力などを通じて《区会》という活動母体があることを認知してもらうことではないかと思えます。

裏面《地域ブロック別在籍会員構成表》

支援学校のトライやるウィークに今年も

◆青陽須磨支援学校からトライやるウィークの付添いボランティアを要請されて5年目になります。

◆今年も9/28～10/2の5日間に延べ50人・日という過去最多の参加者が必要です。

◆7/14現在、21人、延べ44人・日まで確保できましたが、とくに10/2(金)がまだ埋まりません。この日に参加して下さる方お知らせください。

◆ところで、なぜ4か月も前から手配なの？とは思いませんか？それこそが支援学校の特別な事情なのです。

◆障害のある生徒の初めての職場体験には学校・受入れ事業所・父兄による周到な支援体制が必要で、その中に私もボランティアも組み込まれるのです。

◆付添いボランティアという非日常的な体験は、日ごろ忘れがちな社会の先輩としての自覚を取り戻させてくれるような気がします。

第3回ウォークラリー大会
10月25日(日) 9～13時
集合場所 多井畑厄神 駐車場
ラリーのコース 奥須磨公園全域

◆須磨区会オリジナルのイベントです。今年も7人の新しいスタッフとともに準備にとりかかりました。

◆7人は次の方々です

中屋好生(福17・神の谷)・長谷川夕紀子(国18・西落合)

宮崎 稔(福19・西落合)・宮崎宣正(国19・北落合)

山下喜代子(生19・中落合)・入本瀧子(音19・潮見台町)

齊藤幸久(園19・白川谷)

◆大会の詳細な内容と参加申込み要領は9月初旬に改めてお知らせします。お楽しみに！

★ ウォークラリーとは ★

2～4人でチームを組み、隠されたコースをコマ図という部分的な地図をたよりに探し当て、途中のポイントで課題に回答し、スタート地点にもどるまでの時間がどれだけ標準時間(これも伏せてある)に近いかを点数に換算、課題の回答と合わせた得点を競うゲームです。体力やスピードではなく、観察力と判断力を競うゲームと言えます。

◆須磨区会が2012年から使用しているゼッケンのデザインです。

◆前年〈わ〉第1回功労グループ賞を受賞した海岸清掃活動が副賞としていただいた商品券2万円分と区会の資金で39枚作りました。

◆海岸清掃の際だけでなくウォークラリー大会などの区会イベントでも使うことにしているので見たことのある方も少なくないでしょう。

◆〈わ〉の正式のロゴは地色がオレンジですが区会では海浜で目立つピンクにしました(理事長了解済み)

◆期待どおりメンバーの自覚と連帯感および周囲へのPR効果とが生まれています。



お尋ね、ボランティアの応募は下記へお願いします
電話・FAX 793-7219 細野恵久
hossono-kq@k2.dion.ne.jp